SONY

Cyber-shot

デジタルスチルカメラ

取扱説明書

DSC-H10

LITHIUM ION G TYPE

「サイバーショット ハンドブック」、
「サイバーショットステップアップガイド」もご覧ください。

付属のCD-ROMに収録されている「サイバーショットハンドブック（PDF形式）」と「サイバーショットステップアップガイド（Flash形式）」では、本機の詳細な活用方法を説明しています。パソコンでご覧ください。

⚠警告 **電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。**

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。本書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

3-296-322-**01**(1)

お使いになる前に必ずお読みください

内蔵メモリーおよび“メモリースティック デュオ”のバックアップについて

アクセスランプ点灯中に電源を切ったり、バッテリーや“メモリースティック デュオ”を取り出したりすると、内蔵メモリーのデータや“メモリースティック デュオ”のデータが壊れることがあります。データ保護のため必ずバックアップをお取りください。

録画・再生に際してのご注意

- 必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。
- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「使用上のご注意」もご覧ください（27ページ）。
- 本機をぬらさないでください。水滴が内部に入り込むと、故障の原因になるだけでなく、修理できなくなることもあります。
- 日光および強い光に向けて本機を使用しないでください。故障の原因になります。
- 強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わないでください。正しく撮影・再生ができないことがあります。
- 砂やほこりの舞っている場所でのご使用は故障の原因になります。
- 結露が起きたときは、結露を取り除いてからお使いください（27ページ）。
- 本機に振動や衝撃を与えないでください。誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、記録メディアが使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。
- フラッシュの表面の汚れは取り除いてください。発光による熱でフラッシュ表面の汚れが変色したり、貼り付いたりすると、充分に発光できない場合があります。

液晶画面およびレンズについてのご注意

- 液晶画面は有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。
- バッテリー残量がなくなると、レンズが出たまま動きが止まることがあります。充電されたバッテリーを取り付けて、再度電源を入れてください。

画像の互換性について

- 本機は、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格“Design rule for Camera File system”（DCF）に対応しています。
- 本機で撮影した画像の他機での再生、他機で撮影／修正した画像の本機での再生は保証いたしません。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

撮影内容の補償はできません

万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

表示言語について

本機では日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

⚠警告 安全のために

28～30ページも
あわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる**感電や傷害など人への危害**、また**火災などの財産への損害**を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、電源コードに傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐにソニーの相談窓口へご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら 煙が出たら

➡
❶ 電源を切る
❷ 電池をはずす
❸ ソニーの相談窓口に連絡する

裏表紙に**ソニーの相談窓口の連絡先**があります。

⚠危険 万一、電池の液漏れが起きたら

❶ すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。
❷ 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。
❸ 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。
❹ 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

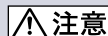
警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

⚠危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

⚠警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

⚠注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、
けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

指示

電池について

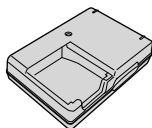
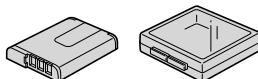
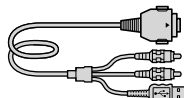
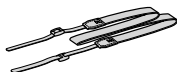
安全のためにの文中の「電池」とは、「バッテリーパック」も含みます。

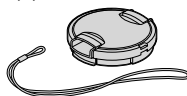
目次

準備する

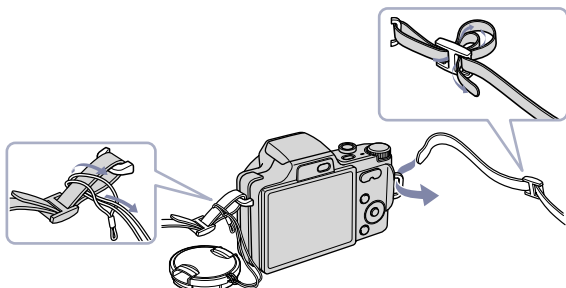
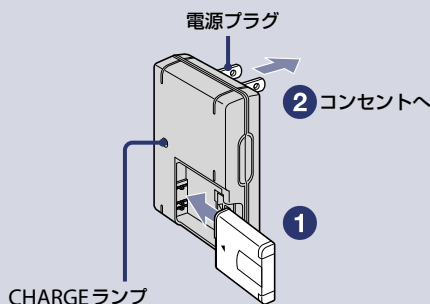
付属品の確認をしてください

万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

- バッテリーチャージャー BC-CSGB/BC-CSGC（1）

- リチャージャブルバッテリーパックNP-BG1（1）/バッテリーケース（1）

- マルチ端子専用USB・A/Vケーブル（1）

- ショルダーストラップ（1）

- レンズフード（1）/アダプターリング（1）

- レンズキャップ（1）/レンズキャップひも（1）

- CD-ROM（1）
  – サイバーショットアプリケーションソフトウェア
  –「サイバーショットハンドブック」
  –「サイバーショットステップアップガイド」
- 取扱説明書（本書）（1）
- 保証書（1）

ショルダーストラップ、レンズキャップを取り付ける

落下防止のため、ストラップを取り付けてご使用ください。

準備1：バッテリーを準備する

1 バッテリーをバッテリーチャージャーに取り付ける。

2 電源プラグを引き起こし、壁のコンセントに取り付ける。

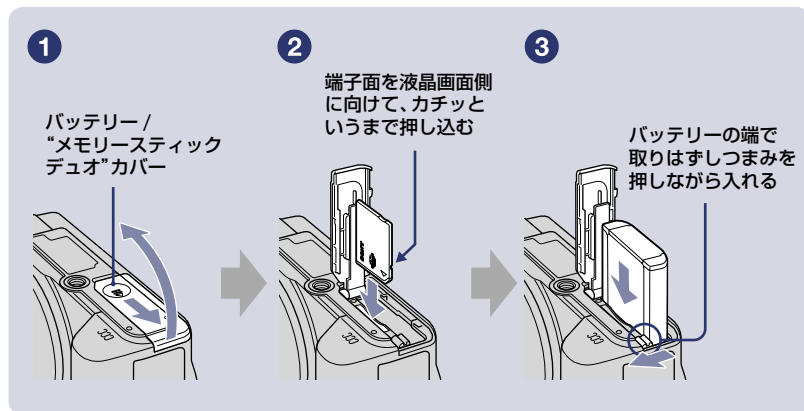
CHARGEランプが点灯して、充電を開始します。
CHARGEランプが消灯すると、充電終了です（実用充電）。そのまま約1時間充電を続けると、若干長くバッテリーを使うことができます（満充電）。

- バッテリーチャージャー（付属）は全世界（AC 100V ～ 240V · 50/60Hz）で使えます。ただし、地域によっては壁のコンセントに差し込むための変換プラグアダプターが必要になる場合があります。

充電時間

満充電	実用充電
約330分	約270分

- バッテリー（付属）を使い切ってから、温度25 ℃の環境下で充電したときの時間です。使用状況や環境によっては、長くかかります。
- 撮影/再生可能時間と枚数については23ページをご覧ください。
- バッテリーチャージャーを取り付けるときは、お手近なコンセントをお使いください。
- 充電が完了してCHARGEランプが消えても電源からは遮断されません。使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- 充電が終わったら、バッテリーチャージャーをコンセントから抜き、バッテリーをバッテリーチャージャーから取りはずしてください。
- 必ずソニー製純正バッテリーをお使いください。

準備2：バッテリー /“メモリースティック デュオ”（別売）を入れる

1. バッテリー /“メモリースティック デュオ”カバーを開ける。
2. “メモリースティック デュオ”（別売）を入れる。
3. バッテリーを入れる。
4. バッテリー /“メモリースティック デュオ”カバーを閉じる。

“メモリースティック デュオ”を入れていないときは

本体に内蔵されているメモリー（約31MB）に画像を記録したり、再生したりする。

バッテリーの残量を確認するときは

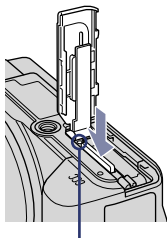
POWERボタンを押して電源を入れ、液晶画面で確認する。

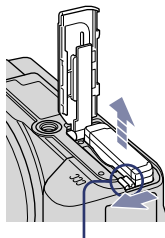
残量表示					
バッテリー残量の目安	充分ある	少し減った	少なくなった	撮影、再生がもうすぐできなくなる	充電済みのバッテリーと交換するか、充電する（警告表示が点滅）

- 正しい残量を表示するのに約1分かかります。
- 使用状況や環境によっては、正しく表示されません。
- お買い上げ後、初めて電源を入れた時は、時計設定画面が表示されます（9ページ）。

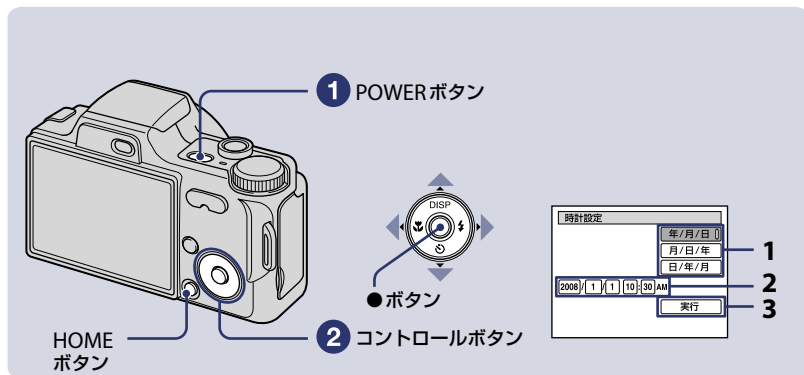
バッテリー / “メモリースティック デュオ”を取り出すときは

バッテリー / “メモリースティック デュオ”カバーを開いて取り出す。

“メモリースティック デュオ”

アクセスランプが点灯していないことを確認して、“メモリースティック デュオ”を押す。

バッテリー

取りはずしつまみをずらす。バッテリーが落下しないようにご注意ください。

- アクセスランプ点灯中は、バッテリー / “メモリースティック デュオ”を取り出さないでください。データが壊れることがあります。

準備3：電源を入れ、時計を合わせる

❶ POWERボタンを押す。

❷ コントロールボタンで時計を合わせる。

1 ▲/▼で日付表示順を選び、中央の●で決定する。

2 ◀/▶で設定する項目を選び、▲/▼で数値を設定して、中央の●で決定する。

3 [実行]を選び、中央の●で決定する。

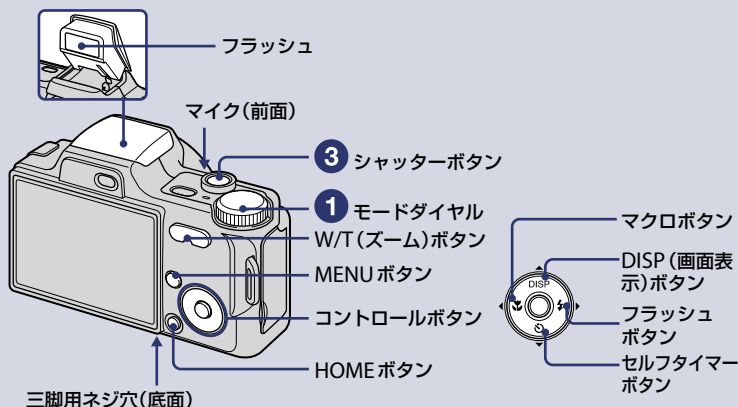
- 本機には画像に日付を挿入する機能はありません。CD-ROM（付属）に収録されている「Picture Motion Browser」を使用すると、日付を入れて保存/印刷ができます。
- 真夜中は12：00AM、正午は12：00PMです。

時計合わせをやり直すときは

HOMEボタンを押して、[ ]（設定）から[時計設定]を選ぶ（15、16ページ）。

電源を入れたときのご注意

- 本機にバッテリーを取り付けた後、操作ができるまでに時間がかかることがあります。
- バッテリー使用時に、電源を入れたまま約3分間操作しないと、バッテリーの消耗を防ぐために自動で電源が切れます（オートパワーオフ機能）。

撮影する

1 モードダイヤルでモードを選ぶ。

静止画（オート撮影）のとき：「📷」にする。

動画のとき：「🎞」にする。

2 脇を締めて構え、構図を決める。

3 シャッターボタンで撮影する。

静止画のとき：

1 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる。

緑の●（AE/AFロック表示）が点滅し、「ピピッ」という音がして点灯します。

2 シャッターボタンを深く押し込む。

動画のとき：

シャッターボタンを深く押し込む。

録画を止めるには、もう一度シャッターボタンを深く押し込む。

モードダイヤル/ズーム/フラッシュ/マクロ/セルフタイマー/画面表示/レンズフード

モードダイヤルを選ぶ

モードダイヤルを、操作したい機能に合わせて設定します。

	オート撮影	カメラまかせで自動撮影。
P	プログラムオート撮影	露出(シャッタースピードと絞り)は本機が自動設定する。それ以外の設定は、メニューで設定。
M	マニュアル露出撮影	露出を手動で設定。
	動画撮影	音声付きの動画を撮影。
ISO	高感度	暗いところでもフラッシュを使わずに撮影。
	ソフトスナップ	人や花などを優しい雰囲気で撮影。
	アドバンストスポーツ撮影	スポーツなど動きのあるシーンを撮影。
	夜景&人物	夜景と手前の人物を同時に撮影するとき、人物を際立たせて撮影。
	風景	遠景にピントを合わせて撮影。
SCN*	シーンセレクション	メニュー内のシーンセレクションを選択。

* SCN内のシーンセレクション
MENUボタンで設定します。

	夜景	夜の暗い雰囲気を損なわずに撮影。
	ビーチ	海や湖などで水の青さを鮮やかに撮影。
	スノー	雪景色を明るく撮影。
	打ち上げ花火	打ち上げ花火をきれいに撮影。

W/Tズームする

Tボタンを押すとズームし、Wボタンを押すと戻る。軽く押すとゆっくりズームし、さらに深く押すと速くズームします。

フラッシュ(静止画のフラッシュモードを選ぶ)

コントロールボタンの▶( )を押す。
押すごとに、設定が変わる。

AUTO:フラッシュオート
光量不足または逆光と判別したとき発光(お買い上げ時の設定)。

:フラッシュ強制発光

SL:スローシンクロ(強制発光)
暗い場所ではシャッタースピードを遅くし、フラッシュが届かない背景も明るく撮影。

:フラッシュ発光禁止

- フラッシュ発光時は、フラッシュ発光部が自動的に持ち上がり発光します。フラッシュ使用後は手で閉じてください。

マクロ撮影(被写体に近接して撮る)

コントロールボタンの◀( )を押す。
押すごとに、設定が変わる。

OFF:マクロ切

:マクロ入(レンズ先端からW側:約2 cm以上、T側:約90 cm以上)

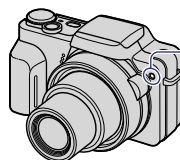
セルフタイマーを使う

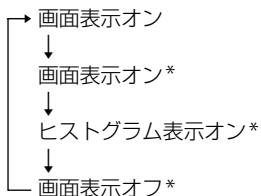
コントロールボタンの▼( )を押す。
押すごとに、設定が変わる。

OFF:セルフタイマー解除

10:セルフタイマーを10秒後に設定

2:セルフタイマーを2秒後に設定

シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅して「ピッピッピッ」と操作音が鳴り、撮影が開始されます。

DISP画面表示を切り換える

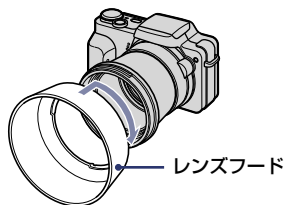
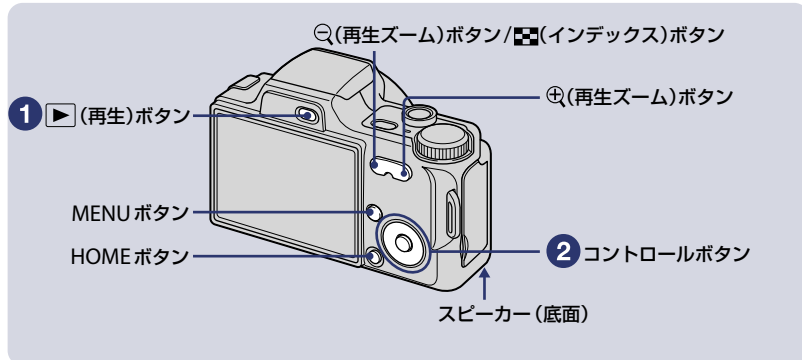
コントロールボタンの▲（DISP）を押す。押すたびに、液晶画面の表示や明るさが変わる。

* バックライトが明るくなります。

レンズフードを取り付ける

1 電源を切った状態で、アダプターリングを取り付ける。

2 レンズフードを下記の向きにして取り付け、「カチッ」と音がするまで回す。

レンズフードを収納する

下記の向きにして取り付け、「カチッ」と音がするまで回す。

再生する/削除する

1 ▶(再生)ボタンを押す。

電源が入っていない状態でも▶(再生)ボタンを押すと電源が入り、再生モードになります。もう一度▶(再生)ボタンを押すと撮影モードになります。

2 コントロールボタンの◀(前)/▶(次)で画像を選ぶ。

動画のとき： 中央の●で再生する。(再生を中止するにはもう一度中央の●を押す。)
▶で早送り、◀で巻き戻しする。(通常再生に戻るには中央の●を押す。)
▼で音量調節画面を表示し、◀/▶で音量を調節する。

削除する

1 削除したい画像を表示し、MENUボタンを押す。

2 ▲で(削除)を選び、◀/▶で[この画像]を選んで中央の●を押す。

3 ▲で[実行]を選び、中央の●を押す。

再生ズーム(拡大して見るときは)

静止画を再生中にボタンを押すとズームできる。ボタンで戻る。

▲/▼/◀/▶でズーム位置を変更する。
ズームを中止するには、中央の●を押す。

一覧表示画面を使う

静止画再生中に(インデックス)ボタンを押し、一覧表示画面に切り換える。

▲/▼/◀/▶で画像を選ぶ。

１枚再生画面に戻すには、中央の●を押す。

- (インデックス)ボタンを繰り返し押すと、さらに細かい一覧表示画面になります。

一覧表示画面で削除する

1 一覧表示中にMENUボタンを押す。

2 ▲で[削除]から[画像選択]を選び、中央の●を押す。

3 ▲/▼/◀/▶で削除したい画像を選び、中央の●を押す。
選択した画像に✔マークがつきます。
削除を中止するには、取り消したい画像を選び、もう一度中央の●を押す。

4 MENUボタンを押して▲で[実行]を選び、中央の●を押す。

- フォルダ内すべての画像を削除するには、**2**で[フォルダ内全て]を選び、中央の●を押す。

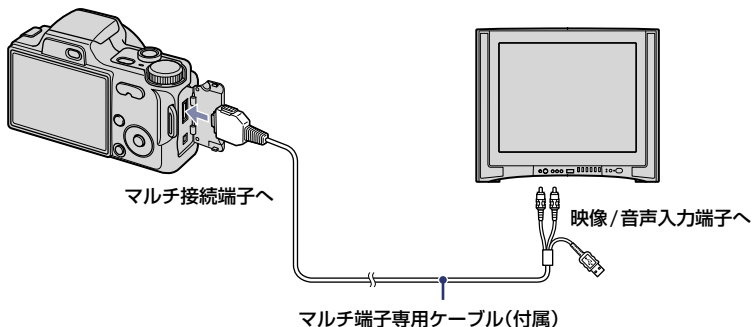
スライドショー（連続再生）をする

1 HOMEボタンを押して[▶]（画像再生）から[スライドショー]を選ぶ。

2 ▲で[実行]を選び、中央の●を押す。

BGMは[エフェクト]に合わせて変更されます。また、お好みのBGMと入れ換えることもできます。曲の変更について詳しくは、CD-ROM（付属）に収録されている「Music Transfer」のヘルプをご覧ください。

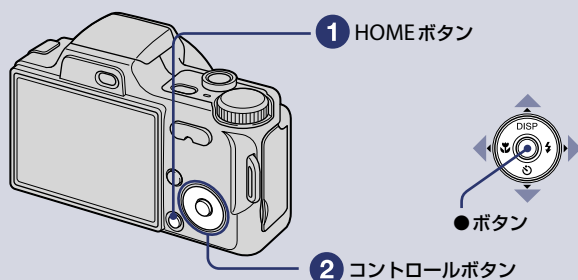
テレビで見る

マルチ端子専用ケーブル（付属）で本機とテレビを接続する。

ハイビジョンテレビで見るときは、HD出力アダプターケーブル（別売）が必要です。

- [画像サイズ]を[16：9]にして撮影すると、画面いっぱいに表示できます。
- HD出力時は、動画は再生できません。[コンポーネント出力]を[SD]にしてください。

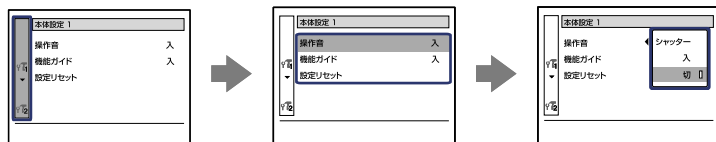
機能を使いこなす – ホーム/メニュー

ホーム画面の操作方法

ホーム画面とは、本機の機能の入り口になる基本画面です。
撮影モード/再生モードにかかわらずアクセス可能です。

1 HOMEボタンを押し、ホーム画面を表示する。

2 コントロールボタンの◀/▶で、設定するカテゴリーに合わせる。

3 ▲/▼で項目を選び、中央の●を押す。

[ ] (メモリー管理)、[ ] (設定)カテゴリーを選んだときは

1 ▲/▼で項目を選ぶ。

- [ ] (設定)を選んだときのみの操作です。

2 ▶を押し、▲/▼で項目を選び、中央の●を押す。

3 ▲/▼で設定項目を選び、中央の●を押す。

- HOMEボタンをもう一度押すと、撮影モードまたは、再生モードに戻ります。

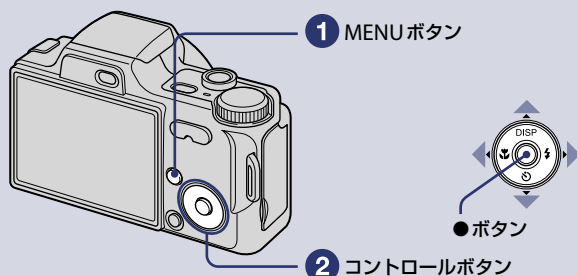
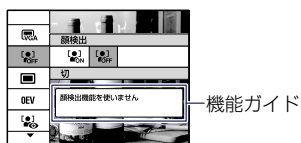
操作方法は15ページ

ホーム一覧

HOMEボタンを押すと下記項目が表示されます。
各項目の詳細は、ガイドに表示されます。

カテゴリー	項目			
撮影	撮影			
画像再生	1枚再生			
	一覧表示			
	スライドショー			
印刷 その他	印刷			
	BGMツール			
			BGMダウンロード	BGMフォーマット
メモリー管理	メモリーツール			
		メモリースティックツール		
			フォーマット	記録フォルダ作成
			記録フォルダ変更	コピー
		内蔵メモリーツール		
			フォーマット	
設定	本体設定			
		本体設定1		
			操作音	機能ガイド
			設定リセット	
		本体設定2		
			USB接続	コンポーネント出力
			ビデオ信号出力	
	撮影設定			
		撮影設定1		
			AFイルミネーター	グリッドライン
			AFモード	デジタルズーム
			コンバージョン	
		撮影設定2		
			縦横判別	オートレビュー
	時計設定			
	表示言語*			

* 本機では日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

メニュー画面の操作方法

1 MENUボタンを押し、メニューを表示する。

- メニューを表示できるのは撮影、再生時のみです。
- モードの違いにより表示される項目が異なります。

2 コントロールボタンの▲/▼で、設定するメニュー項目を選ぶ。

- 設定するメニュー項目がかくれている場合は、▲/▼を押し続けて表示する。

3 ◀/▶で、設定項目を選ぶ。

- 設定する項目がかくれている場合は、◀/▶を押し続けて表示する。
- 再生モードのときは、項目を選択したあと、中央の●を押す。

4 MENUボタンを押し、メニュー表示を消す。

操作方法は17ページ

メニュー一覧

本機の状態（撮影時/再生時）やモードダイヤルの位置によって、設定できるメニュー項目は異なります。
本機の画面には設定できる項目のみが表示されます。

撮影時に表示されるメニュー

シーンセレクション	あらかじめ、撮影状況に合わせて用意された設定で撮影する。
画像サイズ	画像サイズを設定する。
顔検出	人物の顔を検出し、ピントなどを合わせて撮影する。
撮影モード	連写を設定する。
カラーモード	画像の鮮やかさを変えたり、特殊効果を加えて撮影する。
ISO	受光感度を調整する。
EV	露出を手動補正する。
測光モード	画面のどの部分で光を測るか（測光）を設定する。
フォーカス	ピント合わせの方法を変更する。
ホワイトバランス	撮影場所の光の状況に合わせて画像の色合いを調整する。
フラッシュレベル	フラッシュの発光量を調節する。
赤目軽減	赤目の抑制を設定する。
コントラスト	画像の明暗の比を設定する。
シャープネス	画像の鮮鋭度を設定する。
手ブレ補正	手ブレ補正の種類を設定する。
SETUP	撮影機能を設定する。

再生時に表示されるメニュー

（削除）	画像を削除する。
（スライドショー）	スライドショー（連続再生）を設定する。
（加工）	画像に特殊な加工をする。
（プロテクト）	画像を誤って消さないように保護（プロテクト）する。
DPOF	プリントしたい画像にプリント予約マークを付ける。
（印刷）	PictBridge対応プリンターを接続して印刷する。
（回転）	静止画を左右に回転する。
（再生フォルダ選択）	再生したい画像の入っているフォルダを選ぶ。

パソコンを活用する

本機で撮影した画像をパソコンで見ることができます。
また、CD-ROM（付属）に収録されたソフトウェアを活用できます。詳しくは、CD-ROM（付属）に収録された「サイバーショットハンドブック」をご覧ください。

USB接続時・「Picture Motion Browser」使用時の推奨環境

	Windowsをお使いの場合	Macintoshをお使いの場合
USB接続時	Windows 2000 Professional SP4、Windows XP* SP2、Windows Vista*	Mac OS 9.1/9.2、Mac OS X（v10.1 ～ v10.5）
「Picture Motion Browser」使用時	Windows 2000 Professional SP4、Windows XP* SP2、Windows Vista*	非対応

* 64 bit版は除きます。

- 工場出荷時に上記いずれかのOSがインストールされている必要があります。
- USB接続非対応のパソコンの場合は、メモリースティックスロットにて画像を取り込むか、市販のメモリースティックリーダーライターをお使いください。
- サイバーショットアプリケーションソフトウェア「Picture Motion Browser」の動作環境について詳しくは、「サイバーショットハンドブック」をご覧ください。

「サイバーショットハンドブック」を見る

「サイバーショットハンドブック」は、CD-ROM（付属）に収録されており、本機の詳細な活用方法を説明しています。ご覧になるにはAdobe Readerが必要です。

Windowsをお使いの場合

1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）を、CD-ROMドライブに入れる。
以下の画面が表示されます。

[サイバーショットハンドブック]ボタンをクリックすると、「サイバーショットハンドブック」をインストールする画面が表示されます。

2 画面の指示に従って、「サイバーショットハンドブック」をインストールする。
- 「サイバーショットハンドブック」をインストールすると同時に「サイバーショットステップアップガイド」もインストールされます。

3 インストールが完了したら、デスクトップ上のショートカットから起動する。

Macintoshをお使いの場合

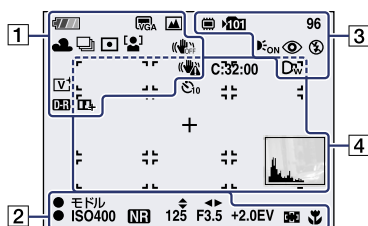
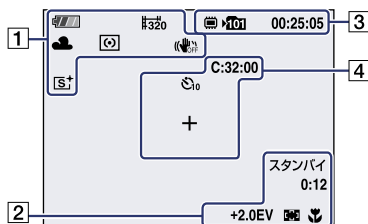
1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）をCD-ROMドライブに入れる。

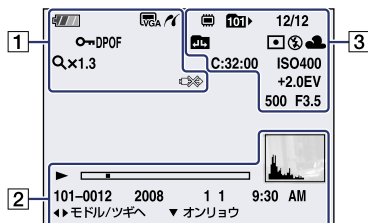
2 [Handbook] - [JP]の順に選び、[JP]フォルダー内の“Handbook.pdf”をパソコンにコピーする。

3 コピーが完了したら、“Handbook.pdf”をダブルクリックする。

画面の表示

コントロールボタンの▲（DISP）を押すたびに、液晶画面の表示が切り替わります（12ページ）。

静止画撮影時

動画撮影時

再生時

1

	バッテリー残量
	バッテリープリエンド
8M 3:2 5M 3M VGA 16:9 FINE STD 320	画像サイズ
ISO	モードダイヤル/メニュー（シーンセレクション）
P M	モードダイヤル
WB	ホワイトバランス
BRK ±0.3 BRK ±0.7 BRK ±1.0	連写/ブラケットモード
	測光モード
	顔検出
ON OFF	手ブレ補正
	手ブレ警告
W T ×1.3 S P	ズーム
V N S BW	カラーモード
	PictBridge接続
	プロテクト
音量	音量
DPOF	プリント予約マーク
×1.3	ズーム
	PictBridge接続中
D-R	コントラスト
	シャープネス

2

◆ ◀▶	マニュアル露出設定モード
● モドル ● セッテイ	マニュアル露出の操作ガイド
1.0m	フォーカスプリセット値
●	AE/AFロック
ISO400	ISO感度
NR	NRスローシャッター
125	シャッタースピード
F3.5	絞り値
+2.0EV	露出補正値
	AF測距枠表示
	マクロ
►	再生
	再生バー
録画 スタンバイ	動画撮影/スタンバイ
0:12	記録時間(分:秒)
	ヒストグラム • 表示不能のときは ⊗ が表示されます。
101-0012	フォルダー - ファイル番号
2008 1 1 9:30 AM	画像の記録日時
● テイシ ● サイセイ	再生時の操作ガイド
◀▶ モドル/ツギへ	前後の画像を表示
▼ オンリョウ	音量調節

3

	記録/再生メディア(メモリースティック デュオ、内蔵メモリー)
101	記録フォルダ
101	再生フォルダ
96	記録可能枚数
12/12	画像番号/再生フォルダ内画像枚数
00:25:05	記録可能時間(時:分:秒)
	フォルダ移動
ON	AFイルミネーター
	赤目軽減
	測光モード
SL	フラッシュモード
	フラッシュ充電中
AWB WB	ホワイトバランス
C:32:00	自己診断表示
ISO400	ISO感度
+2.0EV	露出補正値
500	シャッタースピード
F3.5	絞り値
C T W	コンバージョンレンズ

4

C:32:00	自己診断表示
10 2	セルフタイマー
	AF測距枠
+	スポット測光照準
	ヒストグラム

撮影/再生可能時間と枚数

バッテリー使用時間と撮影/再生枚数

下の表は満充電したバッテリー（付属）で温度25 ℃の環境で使用した場合の目安です。また、撮影/再生枚数は“メモリースティック デュオ”を交換しながら撮影/再生したときの目安です。ご使用の状況によって記載より少ない数値になる場合があります。

静止画撮影時

使用時間	撮影枚数
約155分	約310枚

- 撮影時の数値は以下の設定で撮影した数値。
  - [撮影モード]：[通常撮影]
  - [AFモード]：[シングル]
  - [手ブレ補正]：[撮影時]
  - 30秒ごとに1回撮影
  - 1回ごとにズームをW側、T側に交互にいっぱいにする
  - 2回に一度、フラッシュを発光する
  - 10回に一度、電源を入/切する
- 測定方法はCIPA規格による。（CIPA：カメラ映像機器工業会、Camera & Imaging Products Association）
- 画像サイズによって使用時間/撮影枚数が変化することはありません。

静止画再生時

使用時間	再生枚数
約370分	約7400枚

- 約3秒ごとにシングル画面で順番に再生した数値。

バッテリーについてのご注意

- 使用回数や経年変化により、バッテリー容量は低下します。
- 次のような場合は使用時間と撮影/再生枚数は、表示よりも少なくなります。
  - 周囲が低温のとき
  - フラッシュ多用時
  - 電源の入/切を繰り返したとき
  - ズームを多用したとき
  - バックライトを明るくしているとき
  - [AFモード]が[モニタリング]のとき
  - [手ブレ補正]が[常時]のとき
  - バッテリーの容量が低下したとき
  - [顔検出]が[入]のとき

静止画の記録可能枚数と動画の記録可能時間

記録枚数/時間は撮影状況および使用する記録メディアによって異なる場合がありま す。

- 表示されている容量が以下の表と同じであっても、記録枚数/時間は異なる場合があります。
- 画像サイズはメニュー画面で変更できます（17、18ページ）。

静止画の記録可能枚数の目安

（単位：枚）

容量 / サイズ	内蔵メモリー	本機でフォーマットした"メモリースティック デュオ"						
	約31MB	128MB	256MB	512MB	1GB	2GB	4GB	8GB
8M	10	40	72	150	306	618	1223	2457
3:2	10	40	72	150	306	618	1223	2457
5M	13	51	92	191	390	787	1557	3127
3M	21	82	148	306	626	1262	2498	5017
VGA	202	790	1428	2941	6013	12120	23980	48160
16:9	33	133	238	490	1002	2020	3997	8027

- [撮影モード]が[通常撮影]のときの枚数です。
- 静止画の記録可能枚数が9999枚より多いときは、「>9999」と表示されます。
- 当社の従来モデルで撮影した画像を再生すると、実際の画像サイズと異なって表示される場合があります。

動画の記録可能時間の目安

以下の表は、動画ファイルを合計したときの最大記録可能時間の目安です。連続撮影可能時間は約10分です。

（単位：時：分：秒）

容量 / サイズ	内蔵メモリー	本機でフォーマットした"メモリースティック デュオ"						
	約31MB	128MB	256MB	512MB	1GB	2GB	4GB	8GB
640（ファイン）	–	–	0:02:50	0:06:00	0:12:30	0:25:10	0:49:50	1:40:20
640（スタンダード）	0:01:30	0:05:50	0:10:40	0:22:00	0:45:00	1:30:50	2:59:50	6:01:10
320	0:06:00	0:23:40	0:42:50	1:28:10	3:00:20	6:03:30	11:59:30	24:04:50

- [640（ファイン）]は、"メモリースティック PRO デュオ"のみに記録できます。
- 動画はHD対応していません。

故障かな？と思ったら

困ったときは、下記の流れに従ってください。

❶ 以下の項目をチェックする。また、「サイバーショットハンドブック（PDF）」も参照し、本機を点検する。

画面に「C/ E：□□：□□」のような表示が出たときは、「サイバーショットハンドブック」をご覧ください。

❷ バッテリーを取りはずし、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。

❸ 設定リセットをする（16ページ）。

❹ サイバーショットオフィシャルWEBサイトで確認する。

http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

❺ ソニーの相談窓口に電話で問い合わせる（裏表紙）。

- **内蔵メモリーやBGM機能を搭載した機種を修理に出した場合、それらの内容を確認させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。**

バッテリー・電源

本機にバッテリーを入れられない。

- バッテリー取りはずしつまみを押しながら、正しい向きに入れる（7ページ）。

電源が入らない。

- 本機にバッテリーを取り付けた後、電源が入るまでに時間がかかることがあります。
- バッテリーが正しく取り付けられているか確認する（7ページ）。
- バッテリーが消耗しています。充電されたバッテリーを取り付ける（6ページ）。
- バッテリーの寿命です。新しいバッテリーと交換する。
- 推奨バッテリーをお使いください。

電源が切れる。

- 操作しない状態が3分以上続くと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れる。電源を入れ直す（9ページ）。
- バッテリーの寿命です。新しいバッテリーと交換する。

バッテリーの残量表示が正しくない。

- 温度が極端に高いまたは低いところで使用しているときの現象です。
- 残量表示と実際の残量にズレが生じています。バッテリーを一度使い切ってから充電すると正しい表示に戻ります。
- バッテリーが消耗しています。充電されたバッテリーを取り付ける（6ページ）。
- バッテリーの寿命です。新しいバッテリーと交換する。

バッテリーを本体に入れた状態で充電できない。

- ACアダプター（別売）を使っての充電はできません。バッテリーチャージャー（付属）を使って充電してください。

静止画/動画を撮る

撮影できない。

- 内蔵メモリーまたは"メモリースティック デュオ"の空き容量を確認する（24ページ）。いっぱいのときは、下記のいずれかを行う。
  – 不要な画像を削除する（13ページ）。
  – "メモリースティック デュオ"を交換する。
- フラッシュ充電中は撮影できません。
- 静止画撮影時は、モードダイヤルを🎞以外にする。
- 動画撮影時は、モードダイヤルを🎞にする。
- 動画撮影時、画像サイズが[640（ファイン）]になっているときは、下記いずれかを行う。
  – 画像サイズを[640（ファイン）]以外にする。
  – "メモリースティック PRO デュオ"を入れる。

明るい被写体を写すと、縦に尾を引いたような画像になる。

- スミアという現象で、白や黒、赤、紫などの縦線が出ます。故障ではありません。

画像を見る

再生できない。

- ▶（再生）ボタンを押す（13ページ）。
- パソコンでフォルダ/ファイルの名前を変更したためです。
- パソコンで画像を加工したファイルや、本機以外で撮影した画像は本機での再生は保証いたしません。
- USBモードになっています。USB接続を終了する。

使用上のご注意

使用/保管してはいけない場所

- 異常に高温、低温、または多湿になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近く
  変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

お手入れについて

液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミが付いて汚れたときは、液晶クリーニングキット(別売)を使ってきれいにすることをおすすめします。

レンズをきれいにする

レンズに指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにすることをおすすめします。

表面をきれいにする

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下はご使用にならないでください。

- シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類
- 上記が手についたまま本機を扱うこと
- ゴムやビニール製品との長時間の接触

動作温度にご注意ください

本機の動作温度は約0 ℃～ 40 ℃です。動作温度範囲を越える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。

結露が起きたときは

電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側に付いた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

内蔵の充電式バックアップ電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切に関係なく保持するために充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し1か月程度まったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使用してください。ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことができます。

内蔵の充電式バックアップ電池の充電方法

本機に充電されたバッテリーを入れて、電源を切ったまま24時間以上放置する。

“メモリースティック デュオ”を廃棄/譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、“メモリースティック デュオ”内のデータは完全には消去されないことがあります。“メモリースティック デュオ”を譲渡するときは、パソコンのデータ消去専用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また、“メモリースティック デュオ”を廃棄するときは、“メモリースティック デュオ”本体を物理的に破壊することをおすすめします。

安全のために

→ 3ページもあわせてお読みください。

下記の注意事項を守らないと、**火災**、**大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はソニーの相談窓口にご依頼ください。

内部に水や異物（金属類や燃えやすい物など）を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、ソニーの相談窓口にご相談ください。

運転中に使用しない

禁止

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、液晶画面を見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。

撮影時は周囲の状況に注意をはらう

禁止

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない

禁止

火災やけがの原因となることがあります。

機器本体や付属品、記録メディアは乳幼児の手の届く場所に置かない

禁止

電池などの付属品や"メモリースティック"などを飲みこむおそれがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲みこんだ場合は、直ちに医師に相談してください。

電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。
また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。

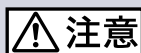
電源コードを傷つけない

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、電源コードを抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。

可燃性/爆発性ガスのある場所でフラッシュを使用しない

フラッシュ、AFイルミネーターなどの撮影補助光を至近距離で人に向けない

- 至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上はなれてください。
- 運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因となります。

注意

下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

水滴のかかる場所など湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

禁止

火災や感電の原因になることがあります。

ぬれた手で使用しない

ぬれ手禁止

感電の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

禁止

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

コード類は正しく配置する

指示

電源コードやパソコン接続ケーブル、A/V接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。

通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中の電池や製品に長時間ふれない

禁止

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

使用中は機器を布で覆ったりしない

禁止

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源をはずす

プラグをコンセントから抜く

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントからはずしたり、電池を本体からはずして保管してください。火災の原因となることがあります。

フラッシュの発光部を手でさわらない

禁止

フラッシュ発光部を手で覆ったまま発光しないでください。発光後も発光部に手を触れないでください。やけどの原因となります。

レンズや液晶画面に衝撃を与えない

禁止

レンズや液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

電池や付属品、記録メディア、アクセサリーなどを取りはずすときは、手をそえる

指示

電池や"メモリースティック"などが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。

⚠危険 電池についての安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがや やけど、火災などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

⚠危険

- 乾電池型充電式電池・バッテリーパックは指定されたバッテリーチャージャー以外で充電しない。
- 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。
- 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。
- 電池をコインやヘアーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体でぬらさない。ぬれた電池を充電したり、使用したりしない。

⚠警告

- 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。
- アルカリ電池/ニッケルマンガン電池は充電しない。
- 外装シールをはがしたり、傷つけたりしない。外装シールの一部または、すべてをはがしてある電池や破れのある電池は絶対に使用しない。

⚠注意

- 電池は、+、−を確かめ、正しく入れる。
- 電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池は混ぜて使わない。

お願い

リチウムイオン電池とニッケル水素電池はリサイクルできます。不要になったこれらの電池は、金属部分にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion
リチウムイオン電池

Ni-MH
ニッケル水素電池

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店については

有限責任中間法人JBRCホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照してください。

保証書とアフターサービス

記録内容の補償はできません

万一、デジタルスチルカメラや"メモリースティック デュオ"などの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このデジタルスチルカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

"故障かな？と思ったら"の項を参考にして故障かどうかお調べください。それでも具合の悪いときはソニーの相談窓口にご相談ください(裏表紙)。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

部品の保有期間について

当社はデジタルスチルカメラの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後7年間保有しています。この部品保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ソニーの相談窓口にご相談ください(裏表紙)。

修理をお受けになる前に

内蔵メモリーのバックアップをお取りください。修理によってデータが消去または変更された場合、記録内容の保障についてはご容赦ください。

主な仕様

本体

[システム]
撮像素子：7.18 mm (1/2.5型) カラー CCD原色フィルター
総画素数：約8 286 000画素
カメラ有効画素数：約8 083 000画素
レンズ：カール ツァイス バリオ・テッサー 10倍ズームレンズf=6.3 ～ 63 mm (38 ～ 380 mm (35 mmフィルム換算値))、F3.5 (W) ～ 4.4 (T)
露出制御：自動、シーンセレクション(9モード)
ホワイトバランス：オート、太陽光、曇天、蛍光灯1、2、3、電球、フラッシュ
記録方式(DCF準拠)：
静止画：Exif Ver. 2.21JPEG準拠、DPOF対応
動画：MPEG1準拠(モノラル)
記録メディア：内蔵メモリー 約31 MB、"メモリースティック デュオ"
フラッシュ：撮影範囲(ISO感度(推奨露光指数)がオートのとき)約0.2 ～ 7.0 m (W) / 約0.9 ～ 5.6 m (T)

[入出力端子]
マルチ接続端子　映像出力
音声出力(モノラル)
USB通信
USB通信：Hi-Speed USB (USB 2.0準拠)

[液晶画面]
液晶パネル：7.5 cm (3.0型) TFT駆動
総ドット数：230 400 (960 × 240) ドット

[電源・その他]
電源：リチャージャブルバッテリーパックNP-BG1、3.6 V
ACアダプター AC-LS5K (別売)、4.2 V
消費電力(撮影時)：0.97 W
動作温度：0 ～ 40 ℃
保存温度：－ 20 ～ +60 ℃
外形寸法：106.0 × 68.5 × 48.9 mm (幅×高さ×奥行き、突起部を除く)
本体質量：約381 g (バッテリー NP-BG1、ストラップ、アダプターリング、レンズフード、レンズキャップなど含む)
マイクロホン：モノラル
スピーカー：モノラル
Exif Print：対応
PRINT Image Matching III：対応
PictBridge：対応

バッテリーチャージャー BC-CSGB/BC-CSGC

定格入力：AC 100 V-240 V、50/60 Hz、2.6W (BC-CSGB) / 2 W (BC-CSGC)
定格出力：DC4.2 V、0.25 A
動作温度：0 ～ 40 ℃
保存温度：－ 20 ～ ＋ 60 ℃
外形寸法：約62 × 24 × 91 mm (幅×高さ×奥行き)
本体質量：約75 g

リチャージャブルバッテリーパック NP-BG1

使用電池：リチウムイオン蓄電池
最大電圧：DC 4.2 V
公称電圧：DC 3.6 V
容量：3.4 Wh (960 mAh)

本機や付属品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

商標について

- Cyber-shot、"サイバーショット"はソニー株式会社の商標です。
- "Memory Stick"、"メモリースティック"、MEMORY STICK™、"Memory Stick PRO"、"メモリースティック PRO"、MEMORY STICK PRO、"Memory Stick Duo"、"メモリースティック デュオ"、MEMORY STICK DUO、"Memory Stick PRO Duo"、"メモリースティック PRO デュオ"、MEMORY STICK PRO DUO、"メモリースティック PRO-HG デュオ"、MEMORY STICK PRO-HG DUO、"メモリースティック マイクロ"、"MagicGate"、"マジックゲート"および MAGICGATE はソニー株式会社の商標です。
- Microsoft、Windows、DirectX、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OS、iMac、iBook、PowerBook、Power Mac、eMacはApple Inc.の登録商標または商標です。
- Intel、MMX、PentiumはIntel Corporationの登録商標または商標です。
- Adobe、Readerは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していません。

■困ったときは（サポートのご案内）

ホームページで調べる

サイバーショットおよび付属ソフトウェアの最新サポート情報（製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など）はこちらのホームページから
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

サイバーショットオフィシャルWEBサイト
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/

サイバーショットの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。英語の取扱説明書のダウンロードもできます。
(English manual download service is available.)

メモリースティック対応表
使用可能な"メモリースティック"を確認できます。
また、その他の"メモリースティック"に関する情報も確認できます。
http://www.sony.co.jp/mstaiou/

電話で問い合わせる（ソニーの相談窓口）

● **使い方相談窓口**
フリーダイヤル……0120-333-020
携帯・PHS・一部のIP電話……0466-31-2511
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「401」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

● **修理相談窓口**
フリーダイヤル……0120-222-330
携帯・PHS・一部のIP電話……0466-31-2531
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「401」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ホームページ　http://www.sony.co.jp/di-repair/

FAX（共通）：0120-333-389
受付時間：月～金 9:00 ～ 20:00　土・日・祝日 9:00 ～ 17:00

■カスタマー登録のご案内

カスタマー登録していただくと、安心・便利な各種サポートが受けられます。
詳しくは、同梱のチラシ「カスタマー登録のご案内」もしくはご登録WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-regi/

登録後は登録者専用お問い合わせ窓口をご利用いただけます。
詳しくは下記のURLをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/contact/

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1　http://www.sony.co.jp/

この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan